同時選挙 電子投票 開票について

「より正確さ」で発表に遅れ
搬入・集計・不在票で手間どる

原本の正確性を確認
投票者数

電子投票 集計30分以内・機能を発揮

緑化推進ことしの入賞者など決まる

緑化ポスター

緑の写真館

緑化功労者

問 選挙管理委員会（内396）

11月9日執行の市議会議員選挙（市議選）・市長選挙（市長選）では、選挙結果の発表が遅れ、市民のみなさん、候補者ならびに選挙関係者のみなさんに多大なご迷惑をおかけしたことを深くおわびいたします。4日の電子投票説明会でも報告しましたが、選挙当日の状況と調査の概要をお知らせします。

■開票結果遅延の内容

開票結果の発表が遅れた理由をご説明します。

①開票開始時刻を午後9時10分と定めていましたが、各投票所の投票箱を開票所に搬入するまでに時間がかかったため、開始時間を30分遅らせて、9時40分から開始しました。搬入が遅れた理由は、衆院選等を加えた5つの投票所事務に時間がかかったことと、投票所～開票所間の交通事情によるものでした。

②電子投票分の中間発表が遅れた理由は、開票所で、電子投票を開票した投票総数が、市議選で4票、市長選で5票、投票者総数を上回っていたことが判明しました（原因は後述）。このため、電子投票分の集計結果は10時9分に出ていましたが、関係書類の点検や記録媒体の投票数のチェックを行った後で発表したため、10時57分に中間発表をしました（開票率89・61％）。

③同時に開票作業を開始した不在者投票が、予想をはるかに超えて多かったこと、また、市議・市長選とも当落線上の票差が拮抗したことから、点検・審査を慎重に対処した結果、この作業に時間を費やすことになりました。

以上のように数々の要素が重なり、結果として、市長選挙の開票確定が10日午前0時40分、市議選の開票確定が1時45分となりました。発表が遅れ、ご迷惑をおかけしましたが、より正確性を期した結果でもあります。

■遅延原因の調査結果

前述の②で、投票総数が投票者総数を上回っていたことについて原因を調査した結果、次のことが判明しました。

1、選挙後の調査により、投票所で確認した投票者数は、記録媒体（原本）を複写したものですが、原本と複写に差異（市議選で4票、市長選で5票）があることが判明しました。

2、このため、受付システムや関係書類を再度点検し、実受付者数（市議選5万6167人、市長選5万6166人、市長選で17人、市長選で11人）を差し引いた投票者数と電子投票記録媒体の原本の数とが一致していることが判明しました。

3、電子投票の記録方法は、総務省の技術的基準に従い、まず原本の記録媒体に書き込み、投票を成立させてからその内容をもう一つの記録媒体に複写する方法で行っていましたが、4カ所の投票所でサーバーの記録媒体の原本に記録された後、複写にはなんらかの障害により、コピーがされなかったことと判明しました。

4、前述3の原因について、電子投票機メーカーで原因の調査を行っているところですが、4投票所の電子投票記録媒体の原本と複写の記録内容に差異が生じている事実から、今回の投票者数と開票結果の数の差異については、投票事務従事者の人為的ミスによるものではなく、一時的に投票端末機が不調になったことによるものであると推測するに至りました。

5、そこで、電子投票サーバーの記録媒体の原本には正確に記録されているかを確認するため、投票数の差異が生じた投票端末機の操作ログ（履歴）を解析し、さらに各投票所の受付システムの投票者数や投票所で記録されている書類などから投票総数について検証しました。

6、その結果、次の内容で原本には正常に書き込まれていることを検証できました。

①投票端末ログの原本への書き込み件数と投票記録媒体の原本の投票数が一致していることを確認。

②投票所ごとの受付件数と投票記録媒体の原本の投票数が一致していることを確認。

このことから、電子投票サーバーの記録媒体の原本には正確な投票者数が記録されていることが保障されました。

以上、今回のトラブルは投票データを記録した原本ではなく、複写の記録媒体のものであり、投票結果については何の問題もないことが確認されましたが、トラブルの原因を徹底究明すべくハード・ソフトの両面から調査を続けています。

開票結果調べ

平成15年11月9日執行 市議会・市長選挙

	市議会議員選挙	市長選挙
当日有権者数	94,873	94,873
投票者数	62,659	62,666
不在者投票数	6,510	6,510
当日投票数	56,149	56,156
投票率	66.05%	66.05%
投票総数	62,658	62,664
有効投票総数	62,269.999	62,068
（投票しないで終了したもの）	2,070	2,582
無効投票総数	388	596
白紙（自書式）	268	489
その他	120	107
持ち帰り	1	2
開票開始時間	21：40	21：40
開票終了時間	25：45	24：40

「投票しないで終了したもの」の説明は記事で掲載

■白票について

過去の選挙と比較し、白票が多いのでは、という疑問についてご説明します。

電子投票における有効投票数に「投票しないで終了」を選択したものが市議選で2070票、市長選で2582票あります。

また、不在者投票の白票は市議選で388票、市長選で489票がありました。

「投票しないで終了」した票とは、電子投票でのいわゆる白票です。候補者名ではなく「投票しないで終了」のボタンを押して選択されたもので、次の画面で「あなたは候補者を選択していませんがよろしいですか」という確認画面が出て、「はい」を押さない限り、「投票しないで終了」には1票が入りません。従って有権者の意志が反映された結果です。

電子投票で白票を投じることも、有権者の権利として定められています。ただし、市選管では白票を助長する指導はできないため、必要に応じ説明するようにしていました。

投票機のトラブル

内　容	件数	詳　細
通信アクセスエラー	4	通信エラーで中断 対応：通信デバイス部の点検をして再開した
発行端末フリーズ	1	投票カード発行機の異常 対処：予備機切換・発行機の再起動
その他	2	起動手順誤り1件 状態表示ランプ異常

投票カードによるもの

内　容	件数	詳　細
ICカードセキュリティロック	58	投票カードを安全装置により使用不能とする 対応：カード交換
投票端末のICカードリーダ認識不能	19	投票端末の投票カード読取を禁止する 対応：投票端末の再起動
その他	1	カード破損1件

■電子投票のトラブル

電子投票のトラブル等は上表のとおりです。主なものは次の2点です。

1、第11投票所（門沢橋コミセン）で投票開始から10分間投票ができなかった。

2、4カ所の投票所で通信部の異常があり、安全のため一系統の投票端末を一時停止した。投票は中断することなく別系統の投票端末で継続した。

表下段の「投票カードによるもの」については想定していたもので、投票カードの安全確保のため一時的に使用不能としたものです。投票カードの交換又は別の投票機で投票を続行していただきました。

■電子投票の結果

電子投票の導入は、6月議会の承認を得て、入札により業者を決定しました。費用は予定価格の約3割の959万円です。電子投票機は、国の指針で示されている技術的条件123項目および市選管が定めた技術的条件39項目について、検査・検証し、試験を重ねて行いました。市民のみなさんにはご理解をいただけますよう、4カ月間をかけて周知活動および啓発活動を展開し、延べ2万3560人の方が体験しました。また、当日には説明員および操作補助員を配置し、電子投票をスムーズに操作いただけるようにしました。

電子投票の結果については、投票所でのトラブルは多少ありましたが、障害時の対策を事前にとっておいたことで、投票を中断することなく、また投票結果に影響を与えるようなトラブルではなかったため無事終えることができ、また、開票では予定どおり集計は30分以内で済み、機能としては十分発揮しました。

電子投票だからこそ総選挙と重なった選挙が実施できたものです。いろいろな要因で開票結果発表が遅れましたが、電子投票自体としてはほぼ満足する結果でした。しかし、トラブルの原因については徹底して究明し、今回の結果をもとにシステムの問題点を提起することにより、今後の電子投票の普及に役立てて行きたいと思います。

緑化推進協議会

海老名市緑化推進協議会（伊藤健三会長）主催「第17回海老名市緑化ポスターコンクール」（小・中学生対象）と「第15回緑の写真館」（市内在住・在勤・在学者対象）、緑化功労者表彰の審査会が10月30日に開催され、次のとおり入賞者が決まりました。表彰式は、平成16年4月下旬の「緑化まつり」で行う予定です（敬称略）。

入賞者は次のとおりです。

▽市長賞（9点）▼小学生の部　山口菜奈（有馬1年）、井上悠里（杉久保2年）、平野怜央（東柏ケ谷3年）、斎藤菜月（杉本4年）、中川直美（上星5年）、工藤さゆり（杉本6年）▼中学生の部　木内貴之（今泉1年）、秋永麻衣子（柏ケ谷2年）、松田梢（海西3年）

▽議長賞（9点）▼小学生の部　斉藤彩加（大谷1年）、紅貴朗（東柏ケ谷2年）、新藤駿太（有鹿3年）、左藤千紘（門沢橋4年）、小林梓（杉久保5年）、能登愛（大谷6年）▼中学生の部　米山千春（柏ケ谷1年）、蓮見寛人（海老名2年）、笠木葉月（海西3年）

▽会長賞（27点）▼小学生の部　杉崎航太（中新田1年）、増田充晃（東柏ケ谷1年）、北山友康（社家1年）、金子和広（海老名2年）、砂川怜誉（海老名2年）、山本美凪（中新田2年）、後藤裕美子（上星3年）、山田脩平（中新田3年）、小向眞由佳（社家3年）、大島麻衣（上星4年）、橋本真澄（東柏ケ谷4年）、北垣満菜実（東柏ケ谷4年）、谷島有香（上星5年）、前田等聖門（中新田5年）、秋永美沙子（杉本5年）、池田茜（上星6年）、鈴木奈緒（杉本6年）、寺田愛（杉本6年）

▼中学生の部　田中麻奈美（柏ケ谷1年）、吉田千尋（柏ケ谷1年）、宮内梓（有馬2年）、伊藤宏（有馬2年）、榎本七緒（有馬2年）、中村まなみ（海老名3年）、比田恵子（海西3年）、坂本宏（海西3年）。

問 公園緑地課（内624）。

緑化ポスター

「緑を守る・つくる・育てる」をテーマに、市内の小・中学生から夏休みを利用して募集しました。1132点の応募があり、市長賞など45点が入賞しました。

緑の写真館

「緑とふれあい」をテーマに28点の応募があり、市長賞など5点が入賞しました。入賞者は次のとおりです。

▽市長賞　有水スミ子（東柏ケ谷）

▽議長賞　小野田留蔵（柏ケ谷）、王子秀男（国分南）

▽会長賞　神崎峯子（中野）、田上幸子（国分寺台）。

緑化功労者

日常の実践活動を通じ、緑の育成に取り組み、地域緑化意識の高揚と促進に寄与された方で、本年度4人の推薦があり、全員表彰となりました。被表彰者は次のとおりです。

▽海老名市緑化推進協議会会長賞　前田稔（中新田）、澤見勝俊（東柏ケ谷）、星川昭二（国分北）、岡本華子（国分北）。